



2026 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 サイバーソリューションズ株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 林 界 宏
(コード番号：436A 東証グロース市場)
問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 土 谷 祐 三 郎
ファイナンス管理担当
TEL. 03-6809-5855

AI を活用したメール誤送信対策サービス「AiSE Guard (アイシー ガード)」リリースのお知らせ

当社は、AI を活用したメール誤送信対策サービス「AiSE Guard (アイシー ガード)」の提供の開始を
発表いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

以 上

プレスリリース
報道関係各位

2026 年 9 月 8 日
サイバーソリューションズ株式会社

サイバーソリューションズ、AI を活用したメール誤送信対策サービス

「AiSE Guard (アイシー ガード)」をリリース

～生成 AI による文脈解析でメール誤送信・情報漏洩リスクを高精度に検知～

コミュニケーションソリューション事業とセキュリティソリューション事業を展開するサイバーソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：林 界宏、以下サイバーソリューションズ）は、2026 年 7 月に発表した AI 活用セキュリティブランド「AiSE (アイシー)」の第一弾ソリューションとして、AI メール誤送信対策サービス「AiSE Guard (アイシー ガード)」の提供を開始したことをお知らせします。

AiSE Guard は、生成 AI を活用した高度な文脈解析により、メール本文や添付ファイルの内容を総合的に分析し、人間の判断に近いレベルで誤送信リスクを評価します。従来のキーワードやルールベースの検知では発見が難しかった、宛先ミス、文脈上不自然な送信、機密情報を含む添付ファイルの誤送付などを高精度に検出し、情報漏洩リスクの低減を支援します。



■AiSE Guard の開発背景

企業に求められるセキュリティ対策は年々高度化しており、近年では組織単体の対策だけでなく、取引先や委託先を含めたサプライチェーン全体のセキュリティレベル向上が重要視されています。その中で、メールは依然として企業間の業務連携を支える主要なコミュニケーション手段であり続けており、サイバー攻撃対策に加え、誤送信などのヒューマンエラーによる情報漏洩対策の重要性が高まっています。企業の信頼性維持や事業継続の観点からも、メールセキュリティの強化は重要な経営課題となっています。

サイバーソリューションズは、25 年以上にわたりメールシステムおよびメールセキュリテ

ィの分野で培った技術と知見を基に、AIを活用した次世代メールセキュリティの提供を推進しています。AiSE Guard は、企業の業務効率を損なうことなく、安全なメールコミュニケーション環境を実現するために開発されました。

■AiSE Guard が対応する課題

従来の誤送信対策は企業の安全なメール運用に大きく貢献してきました。一方で、メール利用の拡大や業務環境の変化に伴い、より効率的かつ高度な誤送信対策を求めるニーズが高まっています。

1) 誤送信確認作業の形骸化

送信前確認や上長承認が日常業務の中でルーチン化し「内容をよく確認せずに承認ボタンを押すだけ」の状態になり、ヒューマンエラーによる誤送信リスクが残存する場合があります。

2) 静的ルールベース判定方式による限界

キーワードや静的ルールによる判定方式では、多様なメールのパターンに対応できない場合があります。

3) 現場の業務負荷増大

メールごとの確認作業や承認フローに時間を要し、業務効率が低下。迅速な対応が求められる業務では、承認待ちによるビジネススピードの低下が課題となる場合があります。

4) 情報システム部門の運用負担

複雑なフィルター設定やルール管理が、情報システム部門の大きな負担になる場合があります。

■AiSE Guard 導入による効果

1) AI による高精度な誤送信検知

生成 AI がメール本文や添付ファイルの内容を理解し、文脈の不自然さ、宛先ミス、機密情報を含む添付ファイルの誤送付などを人間に近い判断で検出します。従来のルールベースでは見逃していたリスクの発見が可能になります。

2) AI と既存対策ツールによる多層防御

既存の誤送信対策システムと連携することで、「AI によるリスク検知」と「ルールベース制御」を組み合わせたより強固なメールセキュリティ環境を実現します。

3) 業務効率の向上

AI が自動でチェックを行うため、全メールに対する過剰な確認作業や承認作業を削減。ユーザーは本来の業務に集中でき、生産性向上につながります。

4) システム運用負荷の軽減

AI が自律的に文脈を判断するため、複雑なルール設定や頻繁なルール更新が不要になり、情報システム部門の管理工数を削減します。

■AiSE Guard の特長

1) 生成 AI によるコンテキストチェック

メール本文や添付ファイルを AI が解析し、キーワードマッチングでは判断できない「文脈」を理解して誤送信リスクを評価します。

2) ゲートウェイ方式による確実なメール制御

メール配送経路上で AI 判定を実施するゲートウェイ方式を採用。AI 分析完了までメールを確実にホールドするため、チェック漏れやすり抜けを防止し、高い安全性を実現します。

3) 添付ファイル・画像・ZIP ファイルの解析

添付ファイルだけでなく、OCR による画像内テキストや圧縮ファイル内の情報まで解析し、幅広い情報漏洩リスクを検知します。

4) 判定理由の可視化

AI が誤送信と判断した根拠やリスクスコアをユーザーへ提示し、なぜ危険と判断されたのかを分かりやすく説明します。

5) 既存環境を活かした導入

サイバーソリューションズの「CYBERMAIL Σ」をはじめ「Microsoft 365(Exchange Online)」「Google Workspace(Gmail)」といった主要なクラウドメール環境に対応。また、「MAILGATES Σ」やクラウド誤送信対策サービスとも連携できるため、大規模な環境変更を行わずに導入可能です。

AiSE Guard 製品サイト：<https://www.cybersolutions.co.jp/product/aise/aiseguard/>

■今後の展望

サイバーソリューションズは今後も AI セキュリティブランド「AiSE」を通じて、企業や自治体の安全なコミュニケーション環境の実現を支援するとともに、AI を活用したセキュリティソリューションの拡充を進めてまいります。

■サイバーソリューションズ株式会社 について

2000 年 1 月の創業以来、「日本企業に安全なビジネスコミュニケーションを届け続けます」を企業理念に、メールの脅威防御、情報漏洩対策、無害化 等の製品・サービスの企画・販売を行うセキュリティソリューション事業と、ビジネスコミュニケーション（メール・グループウェア、大容量ファイル転送）等の製品・サービスの企画・販売を行うコミュニケーションソリューション事業に取り組んでいます。2025 年 10 月の東京証券取引所グロース市場への上場を機に、従業員、顧客、株主にとって最高の会社を目指し、日本企業のビジネスコミュニケーションを支え続けてまいります。

会社名：サイバーソリューションズ株式会社

証券コード：436A

所在地：東京都港区芝浦 3-4-1 グランパークタワー34 階

代表者：代表取締役社長 林 界宏

URL：<https://www.cybersolutions.co.jp/>

（本プレスリリースに関するお問い合わせ）

営業本部 マーケティンググループ 広報担当宛 03-6809-5858 または

<https://www.cybersolutions.co.jp/inquiry/>

※本リリースに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

※リリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格、仕様などの情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。